

本号の特集テーマは「認知運動療法」です。本誌に認知運動療法が初めて紹介されたのは1992年の第26巻第1号の特別寄稿「脳卒中片麻痺に対する認知運動療法：学習過程としてのリハビリテーション」と題したものです。これは当時の編集委員会が認知運動療法を提唱されていたイタリアのリハビリテーション医 Carlo Perfetti 氏に執筆依頼したもので、認知運動療法の考え方、アプローチ方法などについて総論的に記述されています。

認知運動療法の理論は、整形外科系の運動療法は「量的」で、中枢神経系の運動療法は「質的」といった二極的な理論図式ではなく、身体運動を連鎖的にかつ運動学習的に捉え、外界からの刺激反応を認知統合したうえで身体運動をスムーズに発揮できるようにする新しい運動療法の一つであると私は解釈しています。しかしながら認知運動療法に関してはまだ仮説も多く、定説化されてはいません。新しい運動療法のパラダイムとして進化するためには臨床データを蓄積し、適応と効果について多面的な検証を行うことが重要で、その直向な取り組みが多くの理学療法士に受け入れられる原点になると考えます。このような意味合いを踏まえて、今回、認知運動療法の第一人者で編集同人であります宮本省三氏に「認知運動療法の適応と限界」とした企画をお願いした次第です。

池田氏には、認知運動療法の適応と限界について解説していただき、その中では、適応は患者の身体の中にあり、その限界はセラピストの思考の内にある、と述べられています。森岡氏には空間認知と身体イメージのメカニズム、運動遂行に伴う認知過程など認知運動療法の背景を最新の脳科学の情報をもとにわかりやすく解説していただきました。沖田氏には骨関節疾患、富永氏には脳卒中片麻痺に対する認知運動療法の取り組みとその効果について症例を交えながら解説していただき、また症例報告として石原氏、荻野氏から片麻痺例と変形性股関節症のTHR術後例の認知運動療法の経過を詳述していただきました。

講座「実践：臨床疫学」では、大腿骨頸部骨折の帰結予測を得るための情報収集のあり方、システムティックレビューの要点と文献の具体的な吟味例を提示されており、入門講座「論文の読み方」と合わせて読まれることをお勧めします。

今夏、関東地方では記録的な真夏日となりましたが、やっと秋らしい涼しさと虫の音色が響くころになりました。秋の夜長、本誌を熟読されてはいかがでしょうか。

(鶴見隆正)

理学療法ジャーナル

(第38巻 第11号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

2004年11月15日発行(毎月1回15日発行)

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 本誌編集室直通(03)3817-5703

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

(担当：平岡・山崎)

〔2004 年年ぎめ予約購読料 20,880 円〕
(配送料弊社負担)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

振替口座 00170-9-96693 番

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2004, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
五 味 重 春
津 山 直 一
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
高 橋 哲 也
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 橋 ゆかり
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
岡 本 慎 哉
金 谷 さとみ
木 山 喬 博
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
澤 田 三津子
高 口 光 子
寺 山 久美子
富 樫 誠 二
長 澤 昌 夫
中 村 春 基
橋 元 隆
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 井 勉
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 省 三
諸 橋 勇